

第13号

堺すずめ踊り

仲

囲

巢

連

な

い

す

円陣
ENGINE

平成29年12月 3日発行

経営者モーニングセミナーで
講話される川邊さんです。

お話のテーマは『仕事は楽しく、
遊び心を忘れずに』でした。

ナイスファミリーの社長として、
そしてナイス連の連長として
これまで歩いてこられた人生観を
科学的な分析も交えながら
分かりやすくお話になりました。

堺市北区倫理法人会 経営者モーニングセミナー
平成29年11月28日 於 アゴーラ・リージェンシー

久米さんが専任副幹事として所属される堺市北区倫理法人会での講話

11月28日（火）まだ東の空が明けやらぬ6：45、川邊さんの「みなさん、おはようございます」の爽やかなあいさつで講話が始まりました。

久米さん始め池澤さんらの北区倫理法人会役員のほかに、とらさん、真鍋さんが来られていて、川邊さんの前に会員挨拶をした菅藤さん、他地区ながら倫理法人会から伊藤先生など、ナイス連関係もたくさんお話を聞きに来られていました。大塚もスライド係として参加しました。

私たちにはなじみのある「笑顔」が環境を、そしてその人の人生を楽しくするというお話です。最近、私たち大人が忘れてしまった「遊び心」、すなわち心の余裕を大切にしましょうと続く川邊さんのお話は面白くて、約30分という持ち時間があっという間に過ぎてしまいました。

当日は平日で朝も早かったので、来たくても来ることのできなかった方も大勢おられると思い、ダイジェストながら、川邊さんの講話のエッセンスを「円陣」でナイスのみなさまにお伝えします。

「笑顔が人と人をつなぐ」

関西大学の名誉教授、井上宏先生の言葉を引用して笑顔のお話が始まりました。

笑顔は人種・民族を問わずどんな人間にも備わったもので、

「戦わない、敵意を持たない」という万国共通の意思表示だと言います。

言葉の通じない外国の人にも、警戒心の強い幼い子どもにも、誰にでも通じる神秘的な力を持った

この素晴らしいコミュニケーションの道具を、

川邊さんはあなたも私も、みんなが持っていると言うのです。

笑顔は、人間関係を安定させてお互いの気持ちをプラスの方向へつないでゆく働きがあるそうです。

そこで川邊さんは「人と人がつながってゆく上で、まず笑顔。これが大事です。」と言われます。



仲囲巢連 事務局発行
編集者 大塚

ナイス連のモットーは「感謝・笑顔・ありがとう」



すずめ踊りの説明の後、川邊さんはナイス連の活動説明にも多くの時間を割いていました。東日本大震災の時、鈴木民二先生とマッサージのスタッフとともに、車で10数時間をかけて仙台に赴いて、避難所のお年寄りの一人一人に声をかけ、被災者のリラクゼーションのお力になれたこと。そのつながりも、元をたどれば「すずめ踊りのご縁」であること。

「だから今、私たちは元気ですすずめ踊りを踊れることに感謝して、奉納踊りを続けています。その気持ちが私たちに、ここからの笑顔を生みます。その笑顔と嬉しい気持ちを、誰かに伝える言葉が”ありがとう”です。」と言われて、

幸せの連鎖、「感謝・笑顔・ありがとう」を、私たちナイス連のモットーにしていますと結ばれました。

「そ・わ・かの法則」小林正観の著書の紹介

先日川邊さんはお友達と京都のお寺を散策された時に、偶然「そわか」と言う女性グループとご一緒にお茶をされました。

そのグループの方は「般若心経の最後の言葉なんですけどね。」と言いながら「私たち、意味がもうひとつピンと来なくてね。」と話されたそうです。

その時川邊さんが、「こんな本がありますよ。」と紹介されたのが小林正観の「そ・わ・かの法則」（サンマーク出版）です。

その本で、「**そ（=そうじ）、わ（=わらい）、か（=かんしゃ）の3つのキーワードが人生を幸せにする**」という説明を川邊さんがされたところ、そのグループの女性たちからものすごく喜ばれたことをエピソードとしてお話しされました。

笑顔つまり笑いは心身を健康にするパワーの源だと、小林正観は言っています。

この話を聞きながら、「そわか法則」を読んだ人は何万人もいるだろうけれど、読んだ後に「そわか」と言う名のグループに会う川邊さんのマジカルな引きの強さに驚きました。



「笑顔がもたらす効果」は科学的にも証明されている

実はここからがセミナーで大きな反響を呼んだ部分でしたが、川邊さんが”左脳的人間向け”に笑顔の三大効果、「笑顔は笑顔を呼ぶ。」、「笑顔は健康に良い効果をもたらす。」、「笑顔はしあわせを感じさせる。」について科学的な裏付けがあることをお話しされました。

- 「笑顔は笑顔を呼ぶ。」⇒別名「物まね細胞」と呼ばれるミラーニューロンの発見。
- 「笑顔は健康に良い効果をもたらす。」⇒笑顔は人間の免疫力を高めるNK細胞を活性化させる。
- 「笑顔はしあわせを感じさせる。」⇒精神を安定させる「幸福ホルモン」セロトニンの分泌を促す。

更に、セロトニンは幸福感を感じさせるだけでなく、女性の方には恋愛の時のような心理状態に導き、女性ホルモンを整えお肌を艶やかにする働きがあることを説明されると、会場のそれなりの年齢の女性方がざわついていました。

普段川邊さんのことを、右能的頭脳とか、宇宙人とか言っていた事務局も思わず脱帽の一瞬でした。ここに謹んで訂正します。川邊さんは左脳的人間のところがわかる右能的人間です。

「遊び心」は心の余裕、なくしてはいけない大切なもの

ある日若い夫婦がディズニーランド内のレストランで、お子様ランチを注文しました。マニュアルでは「小学生以下のお子様にと、決まっているお子様ランチです。キャストの青年は、マニュアルから一歩踏み出して尋ねました。「お子様ランチでは量が少ないのですが、

どなたが召し上がるのですか？」

「亡くなった子どものために注文したくて。子どもは昨年亡くなりました。私たちはここで親子三人、一緒にランチを食べることを楽しみにしていました。」
「でも、大人二人では無理ですよ。」と母親が寂しそうに微笑んで言うと、青年は答えました。

「いえ、すぐにご用意させていただきます。どうぞこちらへ。」
青年は若い夫婦を4人席に案内し、すぐにお子様ランチを3つ持ってきました。「一つはお店からのサービスです。」と言って彼は子ども用の椅子を置いて3つ目のお子様ランチを、その席にセットしました。

余りの感動に、その若い夫婦は帰ってから感謝の手紙をディズニーランドへ送りました。「名前も知らないアルバイトの方へ。私たちは思い出に残る食事が出来たことに感謝しています。東京ディズニーランドは本当に夢の国です。私たちの夢が叶ったのですから。天国の娘もきっとあなたに言っています。おにいちゃん美味しいランチをありがとうって。」



川邊さんが最後にお話になったのが、東京ディズニーランドの「お子様ランチ」の都市伝説です。TDLはキャストの90%がアルバイトで、厳格なマニュアル指導が行われています。レストランでもお子様ランチは小学生以下が食べることになっていて、大人の注文には「お子様ランチでは量が少ないので、大人のみなさまには他のメニューを案内しております。」と他のメニューに案内するようにマニュアル化されています。

ではなぜアルバイトの青年は、マニュアルから一歩踏み出してお客様の事情を聞いたのでしょうか？TDLには「クレド」と言うマニュアルに優先する「心得」があります。そこには「ディズニーランドはお客様の夢をかなえる国です。ようこそ、ディズニーランドへ」と書かれています。つまりお客様の夢をかなえるために自分ができることは、アルバイトでも自分の責任でマニュアル以外の行動をとっても良いのです。素晴らしい遊び心だと思いませんか？この青年のとった行動は、店長の許可なく行われましたが、もちろん怒られません。

このクレドはTDLのキャストの一人一人に「心の余裕」を持たせていますよね。

この話をされたあと、川邊さんは一人一人が仕事に誇りをもっている姿、それが仕事を、私たちを楽しくする秘訣かもしれません。と言われて講話を締めくくられました。

以下は川邊さんの終わりの言葉の要約です。
ナイス連も連長が発信されたメッセージですから大切に実践していきましょう。

今日から是非、笑顔を始めましょう。きっと楽しい職場（環境）が生まれますよ。そして「遊び心」は「心の余裕」。人間は大人になると「遊び心」を忘れることがあります。余裕は「なくてはならないもの」ではないけれど、「なくしてはいけないもの」ですね。これも忘れずに大切にしてくださいね。

【編集後記】

この円陣の記事は、当日の講話のすべてではありません。川邊さんの了解を得て、ナイス連のメンバー向けにお話の内容を抜粋したものです。悪しからずご了承ください。